

- 現在、市内の約4割の小中学校が、築60年以上の校舎を保有している状況です。文科省は、鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数を70年～80年程度としていますので、施設の更新は待ったなしの課題です。
- 一宮市では、施設の更新を「シン学校プロジェクト」として、単に古くなった校舎を順番に建て替えていくのではなく、新しい時代にふさわしい学校の在り方について、市民・地域の皆様から御意見をいただいて、一緒に考えていきます。
- このワークショップでは、「シン学校プロジェクト（第1期）」で選定された「大和南小中学校区」の学校関係者、地域住民、保護者の皆さまからご意見伺います。そのご意見なども参考にしながら「一宮市大和南小学校基本計画」を作り上げていきます。
- ここでは、ワークショップで皆様から出された様々な意見をご紹介します。

●第1回ワークショップ（R6.12.21開催）

【検討テーマ】

継承したい小学校・中学校の特色と施設コンセプト

- ① 新たな学校に継承したい取り組みについて
- ② どんな学校施設であってほしいか（理念）

【小中一貫校を検討している背景】

<児童生徒の推移>

大和南小学校、大和南中学校の児童生徒の人数は、昭和50年代をピークに減少し続け、2028年には、全ての学年が1クラスになる可能性があります。

【他都市事例の紹介】

小中一貫校の先進事例について紹介されました。事例では、学童保育が複合化されている事例や、多目的に利用ができる学びの空間がある事例などが紹介されました。

【継承したい小学校・中学校の特色と施設コンセプト】

① 新たな学校に継承したい取り組みについての主な意見

《WS風景》



<異学年・小中学校の交流>

- 小中で行う行事の継承（ゴミゼロ運動、合同運動会、合同授業 など）
- ふれあい活動（わくペア）読み聞かせ
- 小中別だからこそその良かった面を引き継ぐ

<地域との交流>

- 地域の中心として学校がある
- 地域と小学校が一緒になっている
- 登下校の見守り運動
- ボランティアの受入：読み聞かせ、授業補助、地域清掃のお手伝い

<教育環境>

- 強い部活動。高い学力の維持。
- 受験に集中できる環境

<学校内外での子育て>

- 移動児童館（こっこ）：異年齢交流に良い取組
- 放課後、休日のグラウンド開放

<文化>

- 祭り、盆踊りの復活、地域行事の継承
- なくなったイベントの復活

②どんな学校施設であってほしいか（理念）に関しての主な意見

<コミュニケーションのある空間>

- 生徒・児童同士、地域ともコミュニケーションがとれる空間
- 地域の人にも使える図書館や会議室（地域交流）

<魅力ある学校>

- 大和南のブランドを大切に、周りからうらやましがられる学校
- 自然光が入る明るい教室・学校

<学習環境>

- 先進的な教育の展開、心の安定を大切にしたい学校

<地域拠点>

- 未就学児～高齢者まで集えるところ
- 地域との交流場所。地域の人にも利用できるようにする。

<子供に寄りそう教育>

- 小中各々の発達段階に適した学習、教育活動を実現できる施設

<過ごしやすい・使いやすい施設(機能・空間)>

- 芝生、中庭、広いコミュニケーションスペース
- 綺麗なトイレ、全館空調
- 雨の日も運動できるトレーニングルーム

●第2回ワークショップ（R7.1.18（土）開催）

学びの場や生活の場である「新たな学校施設のあり方」について、意見を出し合いました。

【検討テーマ】

新たな学校施設のあり方について

- ① 学びの場としての教室等のあり方
- ② 生活の場としての学校施設のあり方



①学びの場としての教室等のあり方に関する主な意見

●個別最適な学び（どんな場所でどんな学び）

<教室>

- 個人学習ができるブースで集中して学習
- ベランダを設置し植物の観察（夏はグリーンカーテン）
- できる子とできない子を差別されない教室

<特別教室等>

- パソコンを使って自由に調べものができる部屋
- 先進的な技術に触れられる部屋
- 音楽室で一人で音楽を聴くことができる

<図書室>

- 集中して本を読んだり、調べものや勉強ができる個室。衝立で仕切られた机など

<屋外空間>

- 広いスペースと年齢ごとに遊べる道具、個別の遊びも可能

●協働的な学び（どんな場所で誰とどんな学び）

<教室>

- 地域の方から学ぶことができる授業
- 友達同士で勉強を教え合う
- 柔軟性のある教室で隣のクラスと一緒に学ぶ

<オープン（フリー）スペース>

- 他学年の生徒から勉強を教えてもらう
- 地域や先生と交流する
- 子供や地域の作品を展示。器楽、音楽発表
- 児童生徒の集会。地域の方との話し合い

<図書室>

- オンラインを活用した学習(タブレット、Zoomなど)
- 大画面で映画鑑賞

<校庭>

- 異学年で運動。みんなで探検
- 異学年同士で植物を育てる

②生活の場としての学校施設のあり方（交流や児童生徒にとって居心地のよい場所になるには）

<交流>

- 地域の人に開放される休憩スペース・ベンチ
- 芝生空間に座れるような場所があり友達と会話をする
- 廊下にテーブルを設置し、他クラスの友達とも過ごせる空間
- 地域活動でも利用できる体育館、教室
- ランチルームで友達や地域の人と食事

<居心地の良い場所>

（空間）

- 隠れ家のような場所、一人になれる場所
- 小さな部屋で先生と個別に相談できれば
- 広い窓から地域の風景を見れる

（設備）

- 明るくきれいなトイレ、多目的トイレ
- 廊下や壁を木材に。空調設備の完備